

東京都中学校理科教育研究会 第2回研修会・役員会・代表理事会

平成24年6月19日(火) 午後3時から 中野区立教育センター 司会：事務局

1 立澤会長から

- ・東京大会一次案内は、佐賀大会頃完成予定。
- ・東京大会は、役員会を中心に準備を進めていく。
- ・各部各委員会の積極的な活動をお願いします。

2 全中理から

- ・ウクライナ、ロシア視察 帰国後報告会を実施するので協力をお願いします。
- ・育成塾の参加生徒の人選が終わったところ。
- ・ソニー教育財団との連携
- ・日本理科教育協会が動き出すことになりました。
- ・佐賀大会をお願いします。
- ・放射線、設備状況調査協力をお願いします。

3 各部・各委員会の活動状況

(1) 研究部 (宇田川部長)

- ・11/16 会員発表会、生徒の研究発表会計画中です。
- ・科学博物館との連携の広報活動もしています。

(2) 研修部 (松丸部長)

- ・都中理研究員第6期動き出した。
- ・教職員研修センターで夏季研修を計画(7/26・27)

(3) 編集部 (前田部長)

- ・名簿を作成中、9月完成予定
- ・会報の準備を始めた。

(4) 教育課程委員会 (並木委員長)

- ・粒子概念の形成で研修を始める。夏休み中に調査を行う。

(5) 学習指導委員会 (田尻委員長)

- ・6/29に第1回定例会を開催、先が見えてきた。

(6) 観察実験委員会 (花田委員長)

- ・6/18第1回を実施 14名参加 発表に向けて教材開発を行っている。
- ・研究を分担して行っている。

(7) 環境教育委員会 (清水委員長)

- ・個人として発表は出来る状態であるが、組織として研究をしていきたい。

(8) 学習評価委員会 (橋本委員長)

- ・アイソトープ関係で研究をしていきたい。評価を重点に研究を進める。

4 研修会「学習指導要領と分科会のテーマについて」

① 大会主題「科学的な体験を通し、意欲的に探求する力を育む理科教育」について

- ・「科学的な体験」と「自然体験」という言葉が指導要領では対になって書かれていることが多いが、あえて大会主題では「科学的な体験」だけで表現した。

② 分科会主題と視点について

- ・分科会主題に合わせて、視点を指導要領や東京の大会に合わせて視点を羅列した。内容を検討して欲しい。
- ・最終案内には、視点はのせずに、発表者と発表内容をのせる。

③ なぜ、全中理の発表は5つの分科会なのか、4つの領域でも良いのではないか。変えられないのかという意見が出たが、慣例で5つになっており、今更東京大会では変えられないのでこれで行く。

5 全中理東京大会

① 記念講演の講師を考えて欲しい

- ・スカイツリー設計者、宇宙の渚の古川さん、ノーベル賞受賞者、IPS細胞の山中教授、いろいろ出ましたが、7月頃まで決定したい。

6 事務局から

- ・関中理山梨大会（11月21/22）の発表者について
発表者の支援→教育課程委員会委員長が行う。

中野区立南中野中学校 高田 太樹

大気圧の知識・理解を活用する課題設定及び授業実践例

- ・全中理佐賀大会 発表者の支援

第1分科会（教育課程） 台東区立上野中学校野口大和先生 →並木委員長

「自然の事物・現象に進んで関わり、科学的見方や考え方を育てる授業の工夫」

第2分科会（学習指導） 荒川区立第九中学校上田尊先生 →田尻委員長

「脊椎動物・無脊椎動物の学習における継続的な観察を活用した指導法の研究」

第4分科会（環境教育） 小金井市立第二中学校羽生章、依田義史、大河秀人先生

「生徒の主体的な行動意欲をはぐくむ環境教育の工夫」 →清水委員長

- ・親睦会はレセプションの後8：30頃から二次会形式で簡素に行う。

- ・各地区名簿作成について

- ・夏季教員研修会

- ・今後の予定 7/9中野 9/6新宿 10/18中 11/9中
12/10新 1/17中 2/21中 3/8新

7 情報交換

(1) 各地区の動向

板橋：極地研での研修会を計画中。研究授業を年内3回予定

大田：地学の研修会を計画中

西多摩：三町一村一市で活動。教員が少ない中で活動。ジャクサや筑波に見学会に行っている。

国立：理科の学力が低い対策を市教委が考えている。北中理では、放射線の研修会を今年も検討している。

新宿：教員研修会や現地研修会を計画している。

杉並：東京ガスで研修会を実施予定。初任者研修会や生徒研究発表会を計画している。

葛飾：ICTの研修会やデジタル教科書の研修会等を行っている。

足立：二ヶ月に一回幹事会を行っている。大学との連携を考え始めている。

江戸川：現地研で花王や超伝導関係の企業に行く。科学センターを実施している。

練馬：研究授業を年間二回実施。実技研では、新しい実験について行う。科学教室を実施

8 その他